

女神

に異世界召喚で

無双

はらへら
hara hera

R18

身体で

しないかと誘われたけど断ったら

言う事聞かされちゃいました…



俺の名前は葉山ソウジ
女神の依頼で力を与えられ
現代から異世界に召喚された

ここが
異世界…？

どこだろ…
城の中？

平原とかに飛ばされると
思ったんだが…

とりあえず外に…

グ
ー

—
っ
！

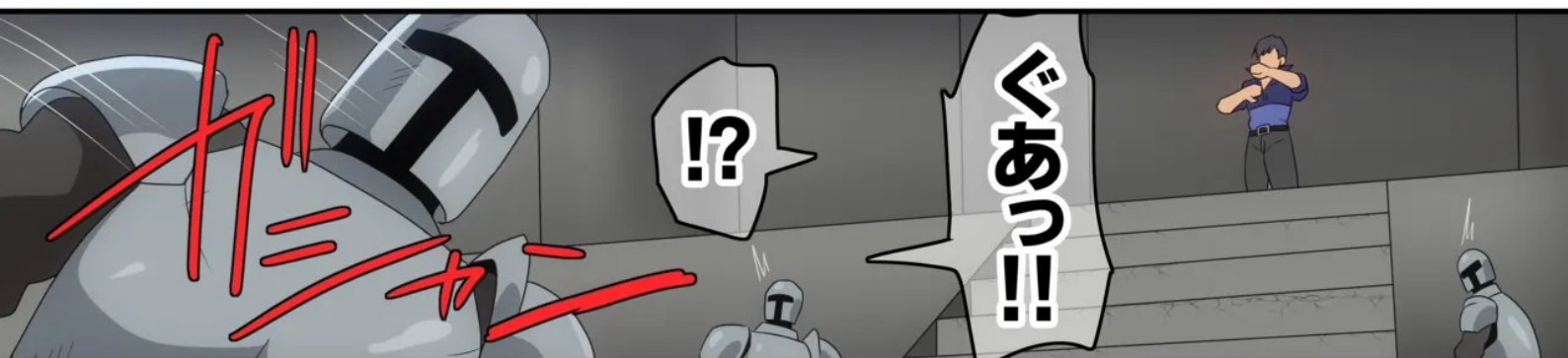
なんだ…

矢か…これ？

っ
っ
っ

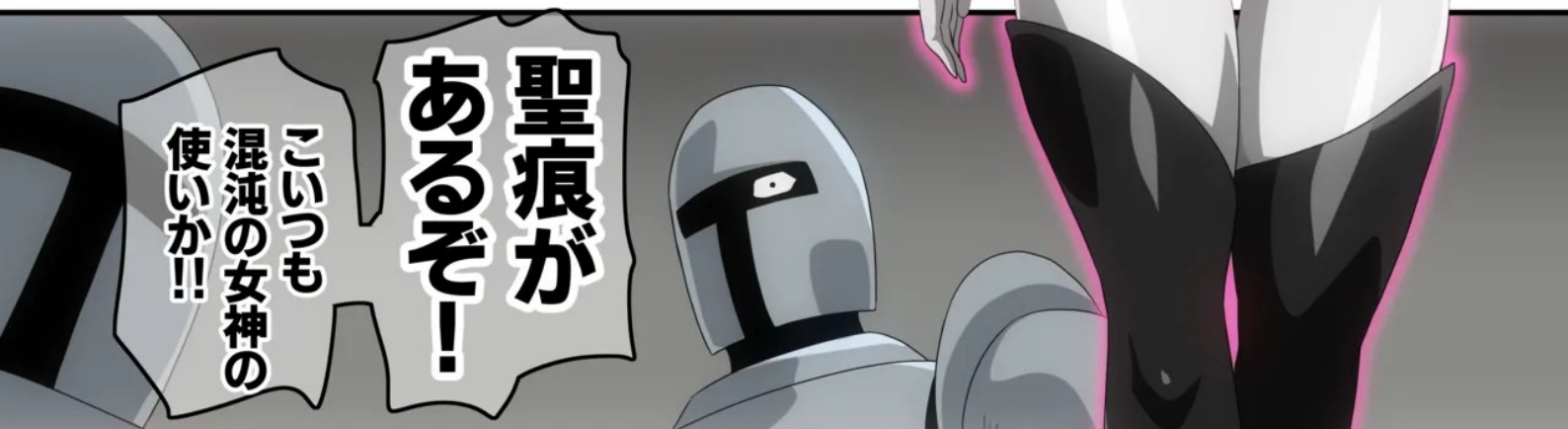
えっ、これ俺に
当たったのか！

7
／
7
／





お迎えに上がりました
女神ルナ様の使いの方

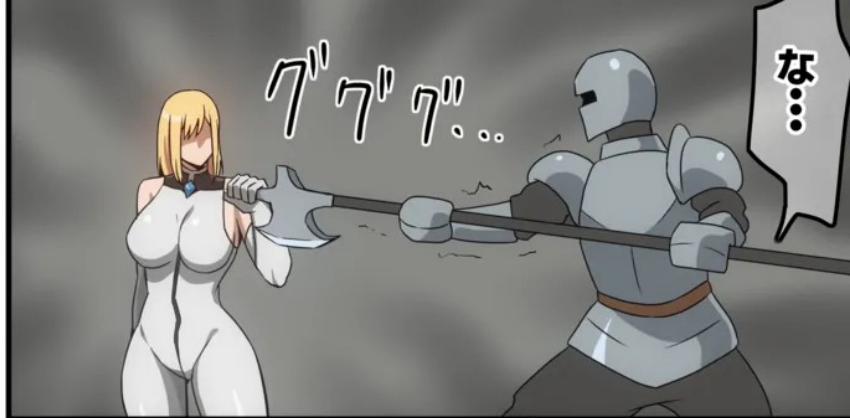


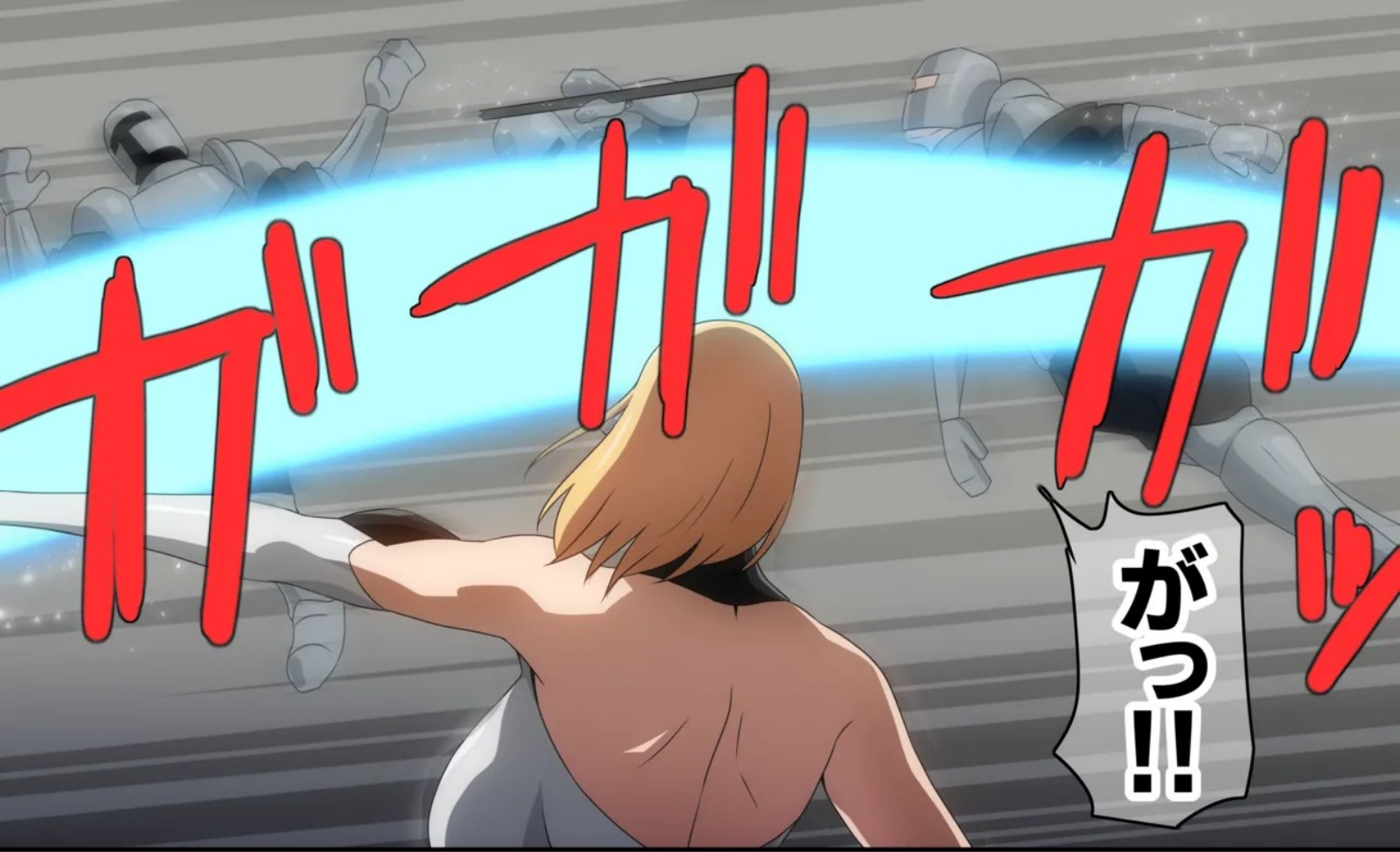
聖痕が
あるぞ！

こいつも
混沌の女神の
使いか！！



殺せ！！





一人で無双
し始めたよ……

こういうのって俺の
役じゃないのか？

甲冑軍団に
怪力ボディースーツ女……

それに俺の事
混沌の女神の使いで
迎えに来たとか……

どういふ世界観なんだここ？

しかし……良い
身体してるな……

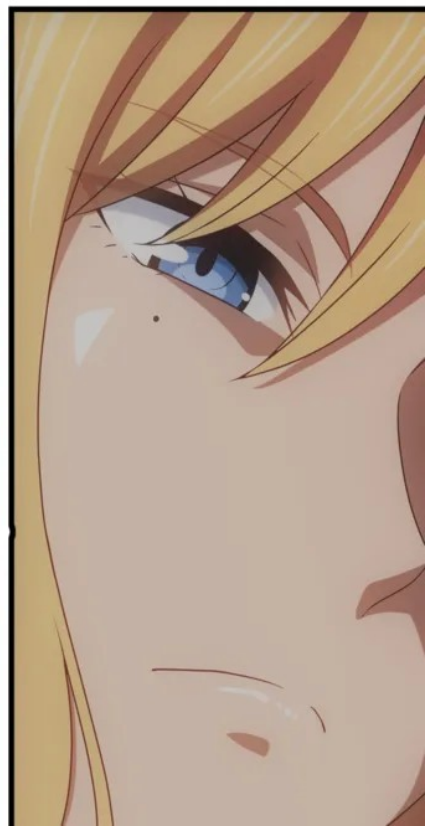
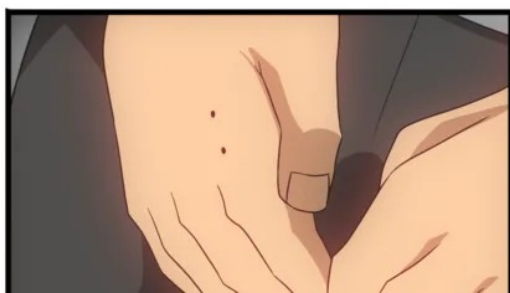
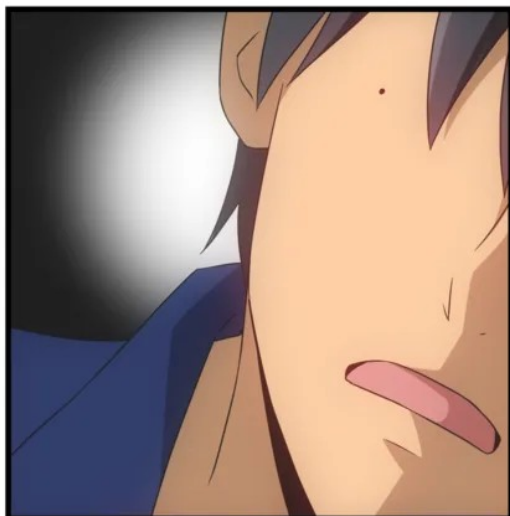
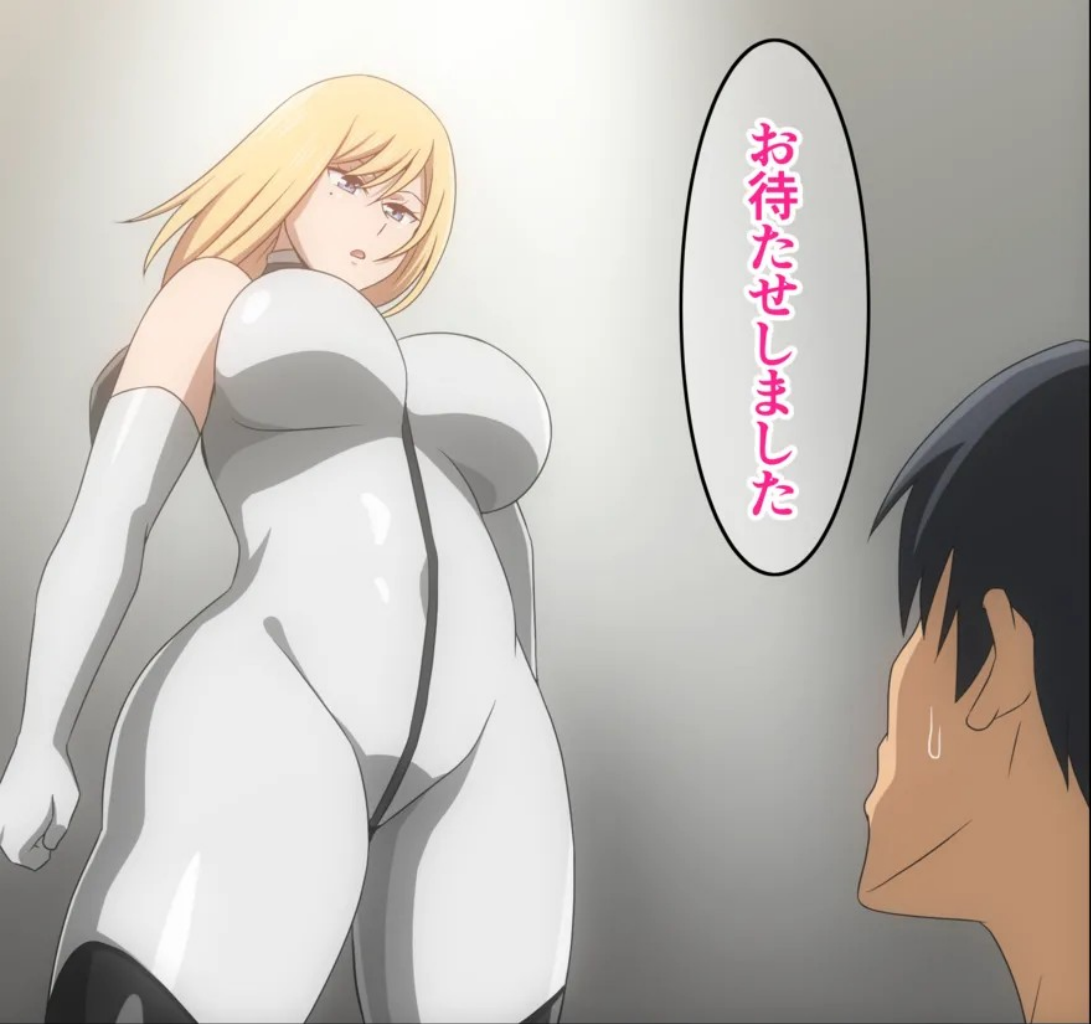
あの女神といい勝負
じゃないか……

やばっこんな状況で
勃起しちゃったよ……

チ○コデカくなったから
立ったら即バレじゃねーか……

……っ

ムッ
ムッ……



えっと…聖痕？
とか言われても
よく分かんなくて…

召喚されたばかりで
右も左も分かんないん
ですけど…

私の名はセラス
女神ルナ様の使いの
末裔の一人です

夢の中でルナ様から
貴方が召喚される事を
知らされ迎えに上がりました

すみません
気がはやって
しまいました

聖痕とはそのホクロ
の様なものです
一つにつき特殊能力が
与えられ数が多いほど
力が増します

ですので自衛の為に
聖痕持ち同士が集まり
組織を作っています

そこであなたを
保護しようと思うのですが…

ですがこの世界では
この力を悪用する者が
多く聖痕持ちはあまり
良く思われていません

何処で知ったのか貴方が
召喚される事を知った国が
軍を差し向けて来る位には
嫌われています

なんだそれ…
嫌われすぎだろ

スマホ…？

あ、ちよっと
待って

そーいや女神に
渡されてたな

やあ、調子は
どうだ？

その娘は
信用して良いぞ

私がお前の為に
用意した案内人だ



まあチュートリアルキャラ
みたいなものだ
色々教えてくれたらどう？

その娘について行けば
生活基盤は得られるから
その後は好きにやってくれ

その娘と
セックスして子種を
あげてやってくれ

あ、ありがとう
ございます…

頑張ります…

うむ
頑張れよ

ああ、それと



ちよつ…ちよつ
何ですかそれ

+

褒美に何かと聞いたら
強い男の子種が欲しいと
言って来てな

それならとお前を
お勧めしておいた

ええ…

まあついでにセックスの
チュートリアルも
してもらえ
私の時みたいにな
荒々しく扱うんじゃ
無いぞ

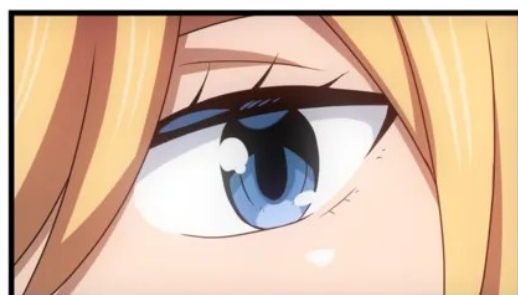
じゃーな

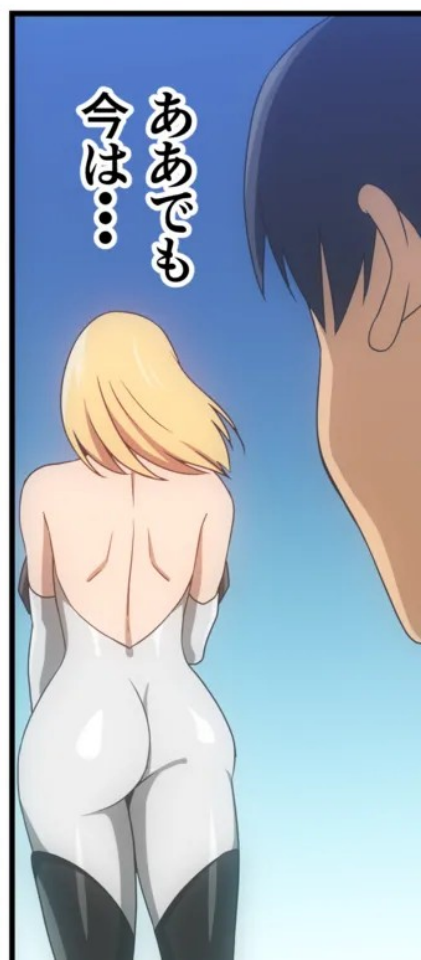
お話の相手は
ひよつとしてルナ様
でしょうか？

き、切れた…

あの

うおっ！





あの女神のせいで
下半身でしか物を
考えられなくなっ
てしまった

いくら強くなったって
これじゃ日常生活に
支障きたすぞ…

それ
辛そうですね

ああいやあごめんね
見苦しいモノを…

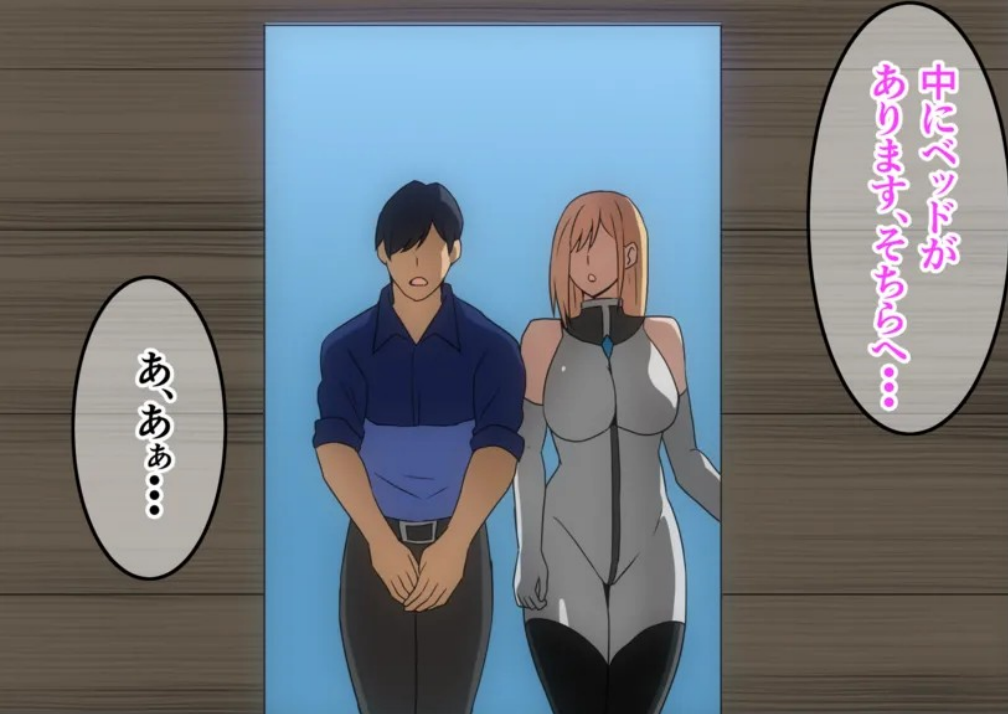
私が処理
しましょうか？

えっ？

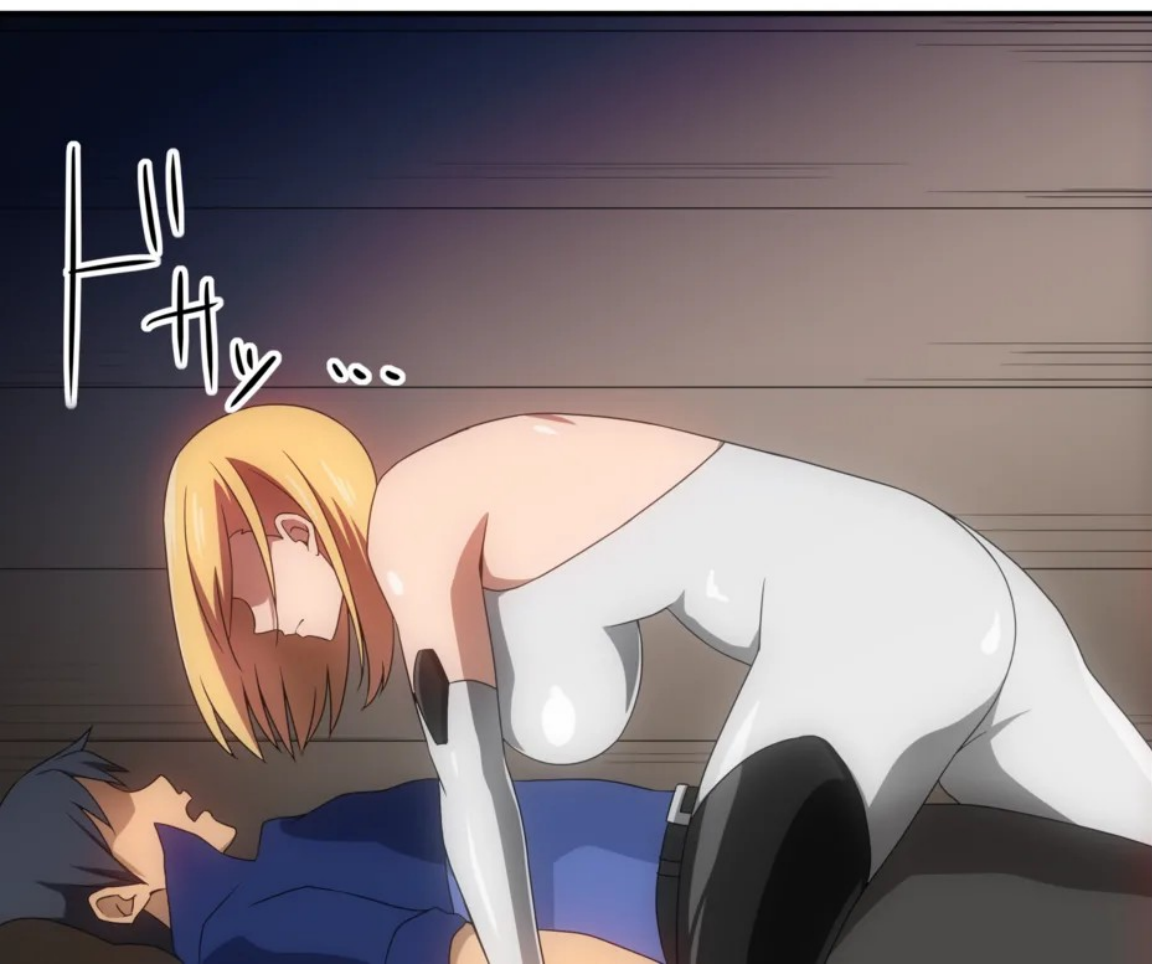
少し下りた所に
小屋があります

そこまで
我慢してください

まじか…



中にベッドが
あります、そちらへ...





そう言うて彼女は
力づくで俺を犯し始めた



服も剥ぎ取られて
裸にされ...



ベッドに組んだかれて
なすがまま...



正直さっきの戦いを
見せられて力で抵抗なんて
する気も起きなかった



それにこういう事は
まだ慣れて無いので
まかせようと思ったが...



雑なキスに
雑な手コキ...

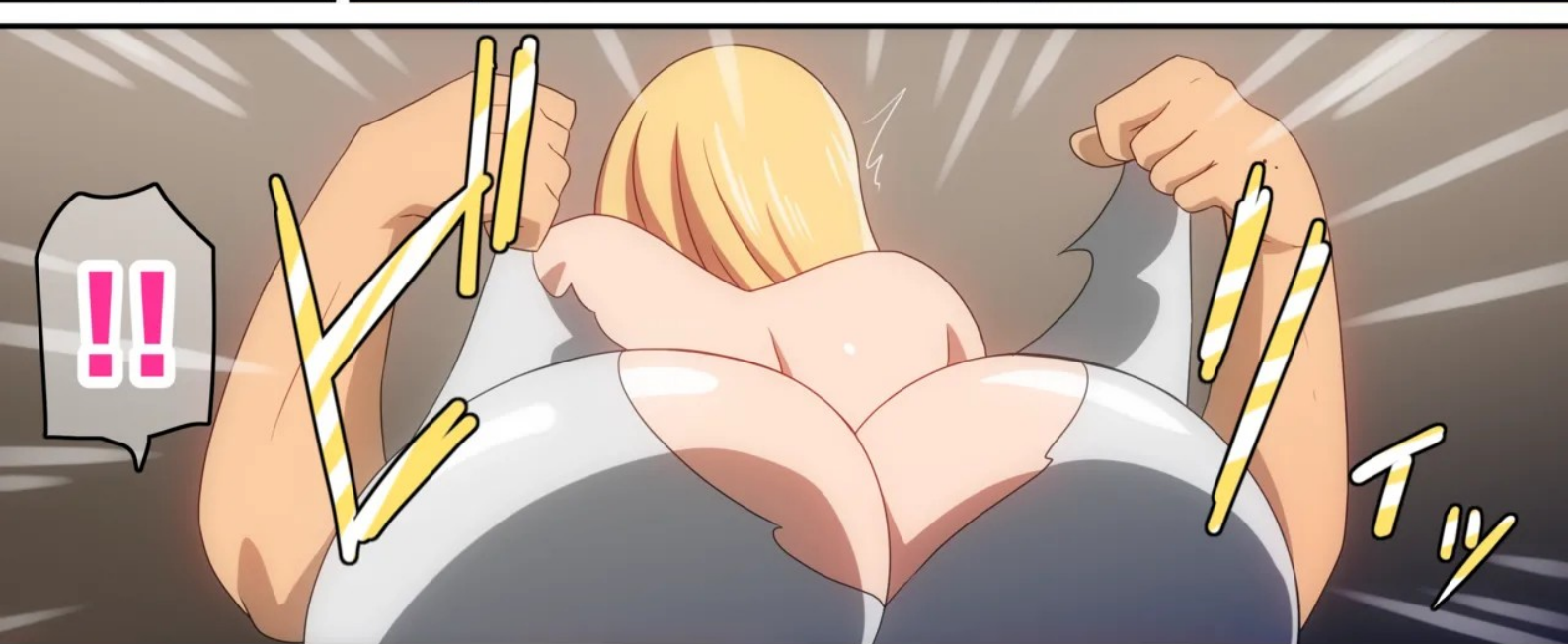
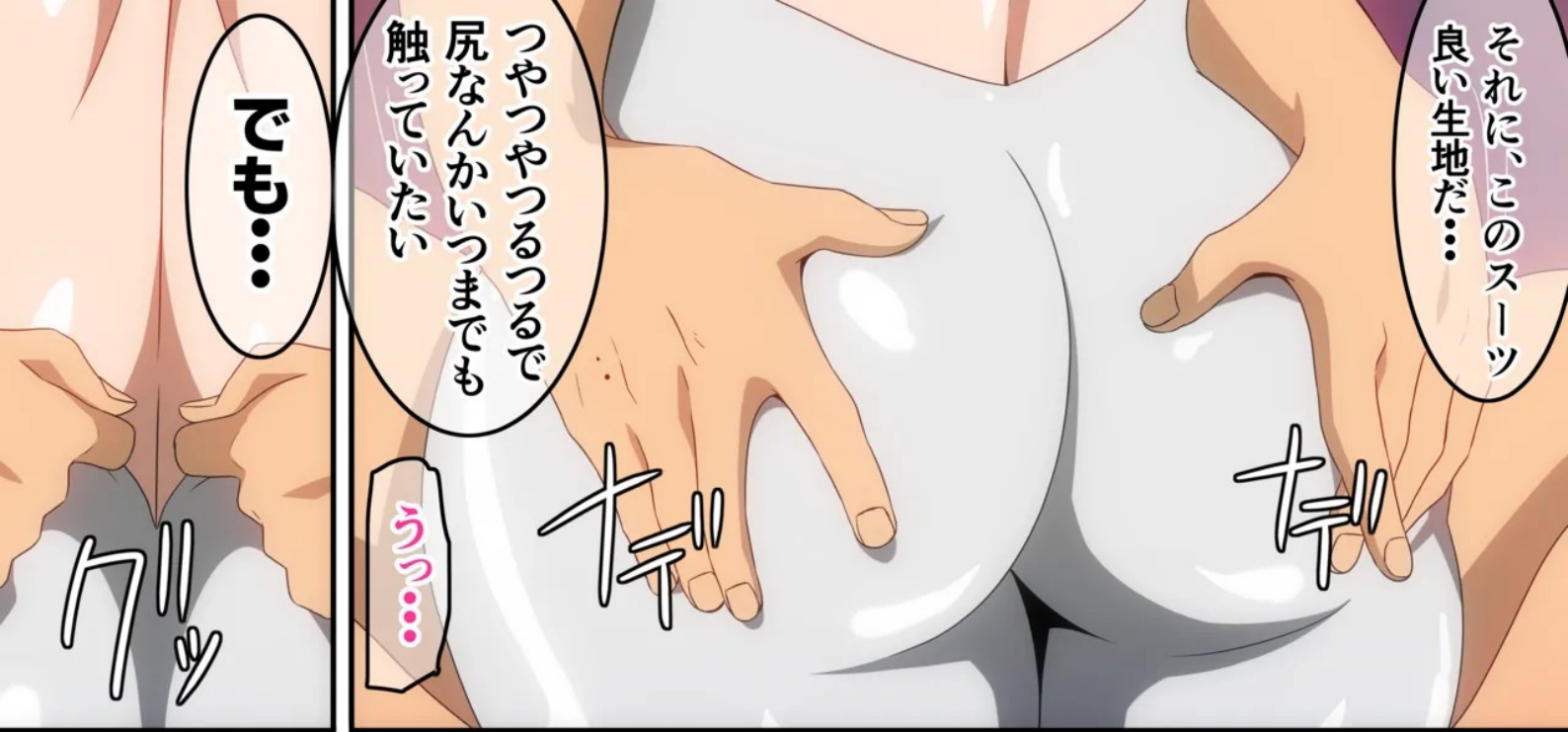


あっ...
あむ...

全然気持ち
良くない!!





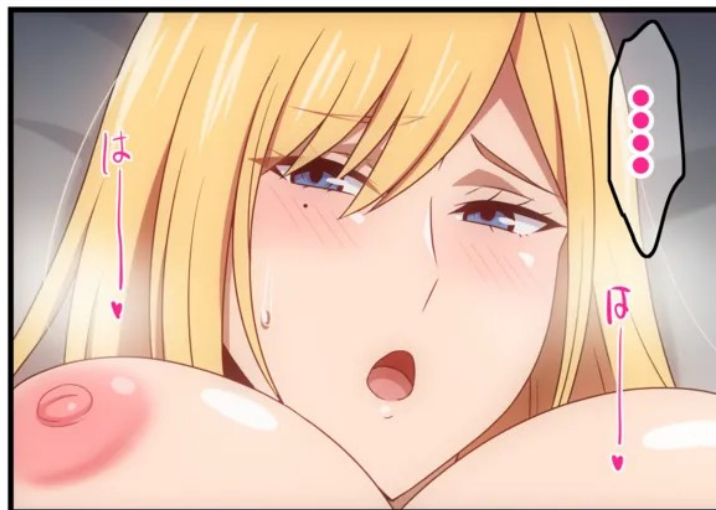


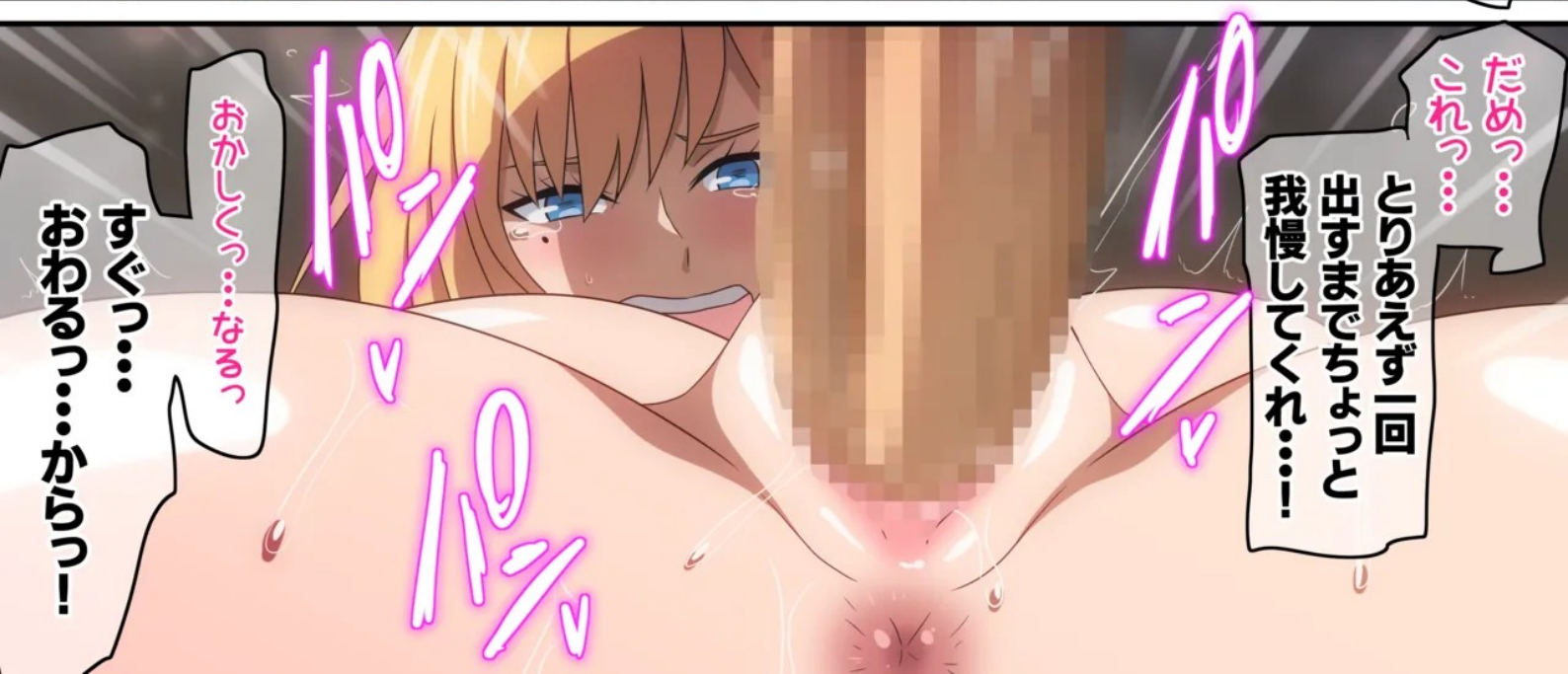
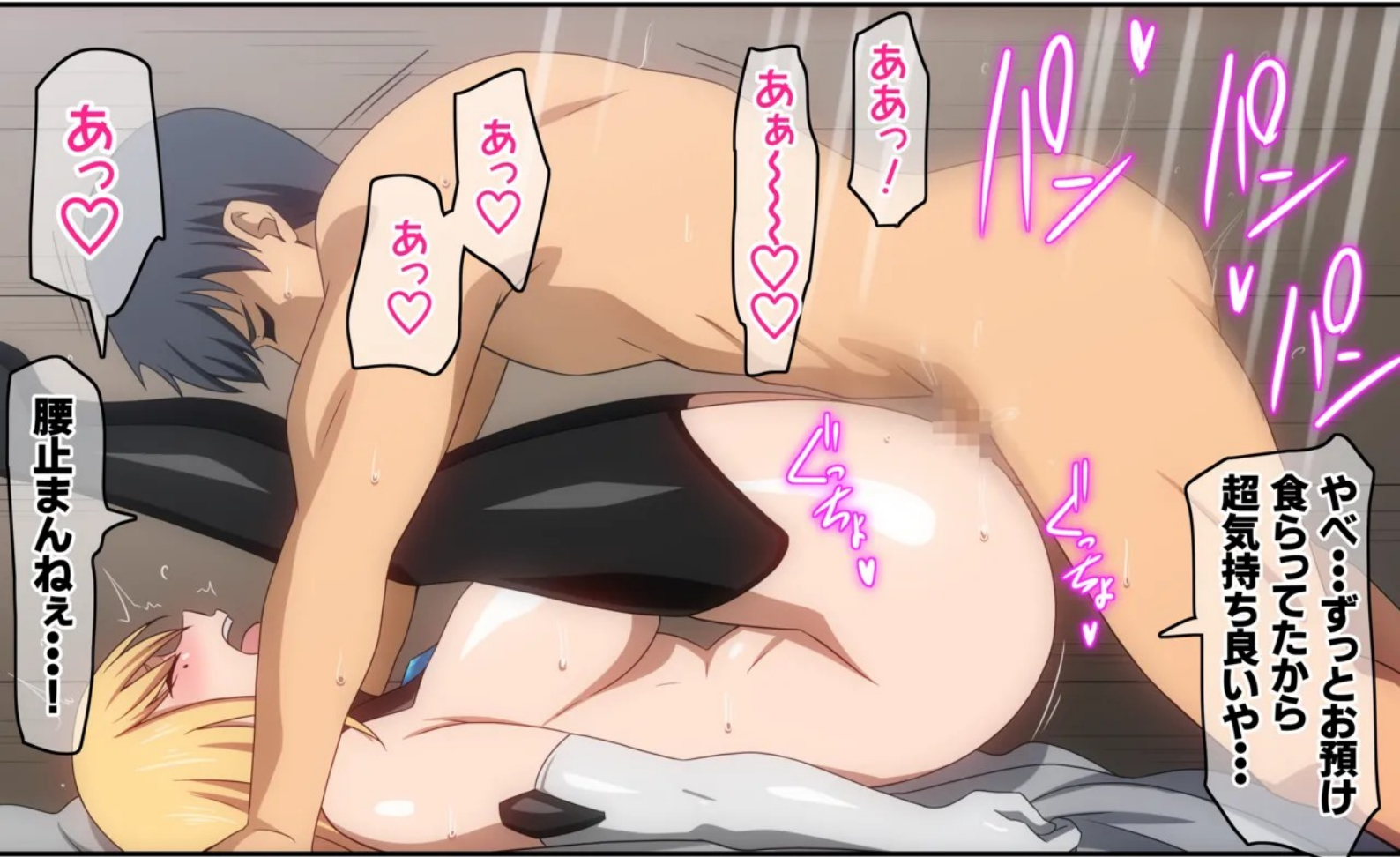
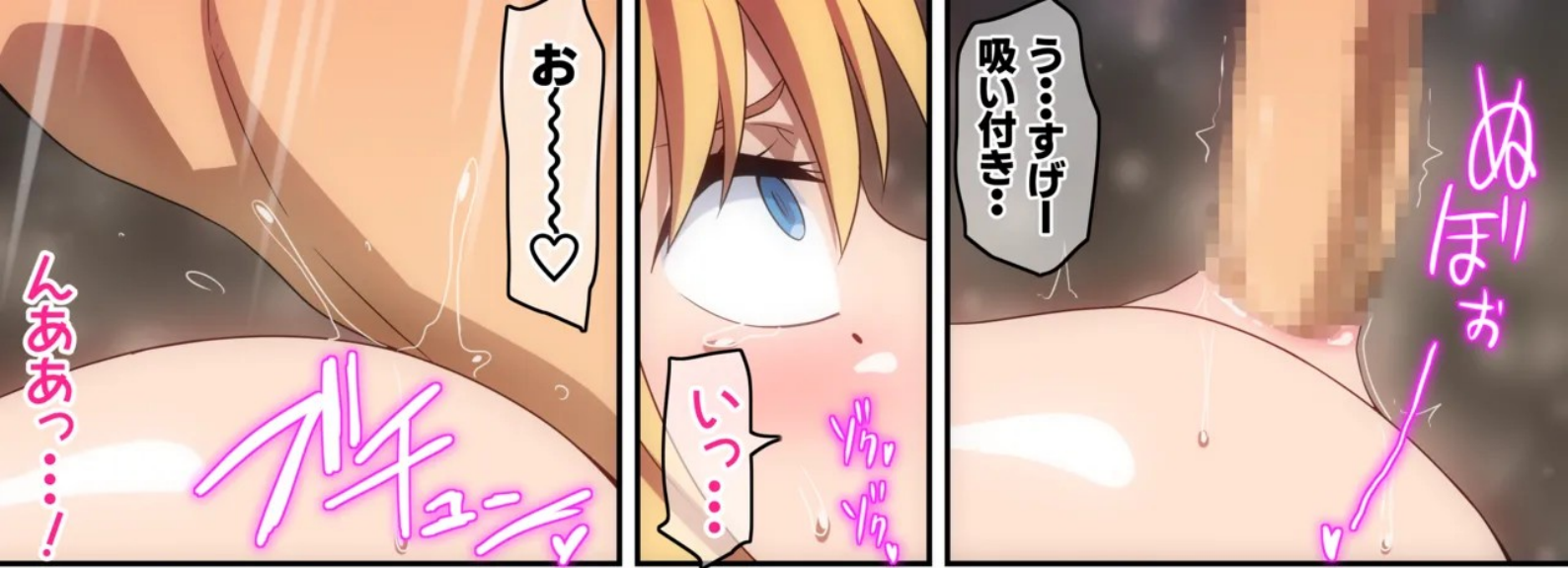






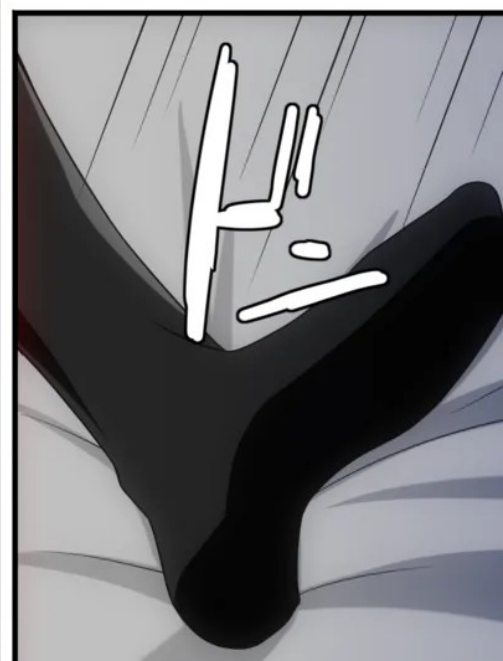
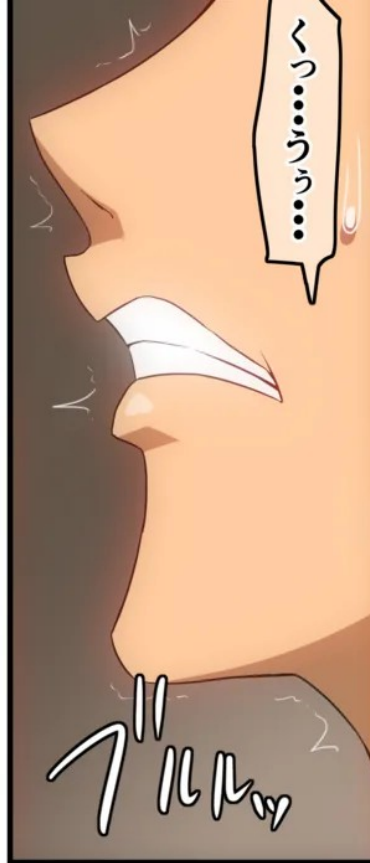












そんなに体力消費
激しいのかね…

まあ聖痕3対10
力の差がありすぎたら
仕方無いのか…

…まだちょっと
物足り無いんだがなあ…

…っ！

ピョッ

フワ

まだ…
出来ます…！！

！

くくくっ

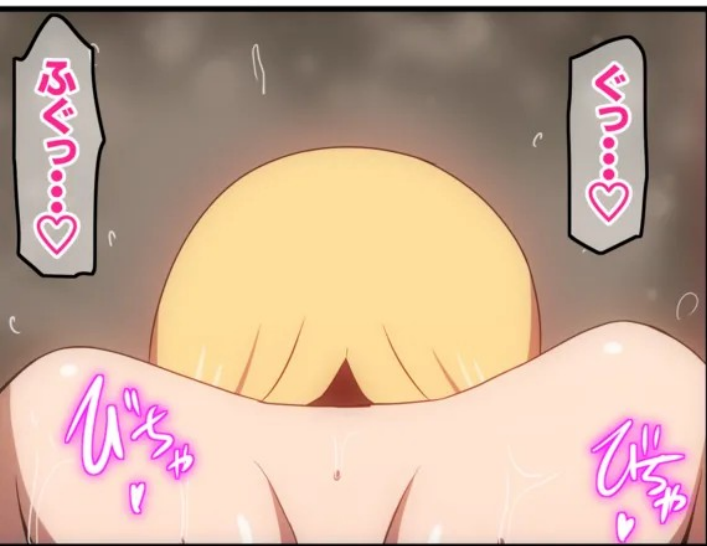
ですから…
気の済むまで私の事を
犯して下さい…！！

はぁ♡

…っ！



あああッ!!



助かるよ
まだ全然足りなかった
からな...



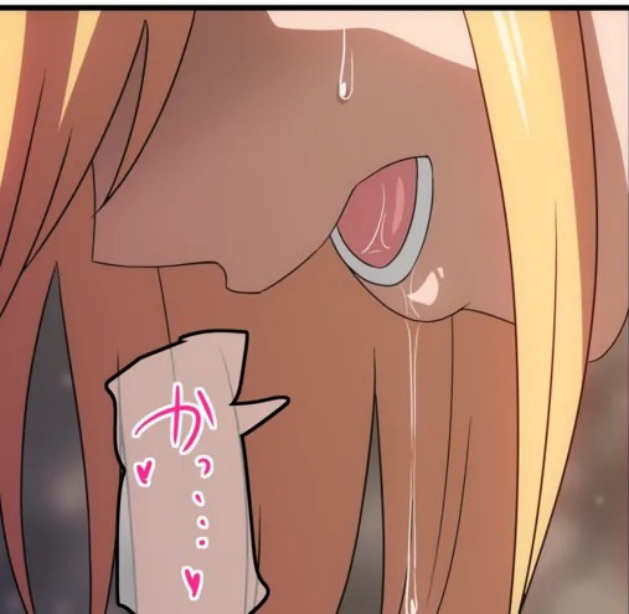
凄い汗だな...
そんなに消耗するの

ああ、何かたまんねえな!

鎧着た兵隊を顔色二つ
変えずに一蹴したこの娘が



俺のチ○ポで
突き上げられて
喘ぐ姿…!!



うおおっ…
まだ大きくっ!!



ぐぐぐ

…っ!!



うおっ…流石に
入りきらないか!

すっげー溢れてる



おおっ…



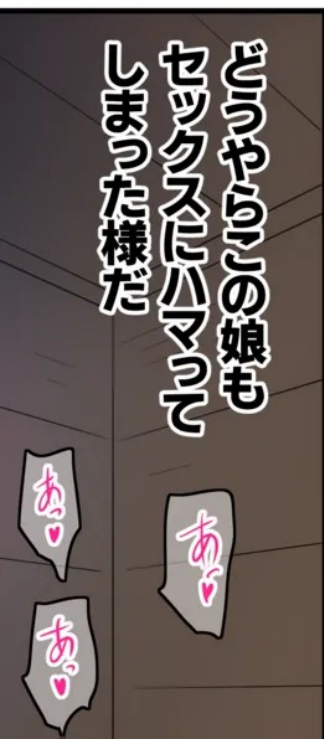
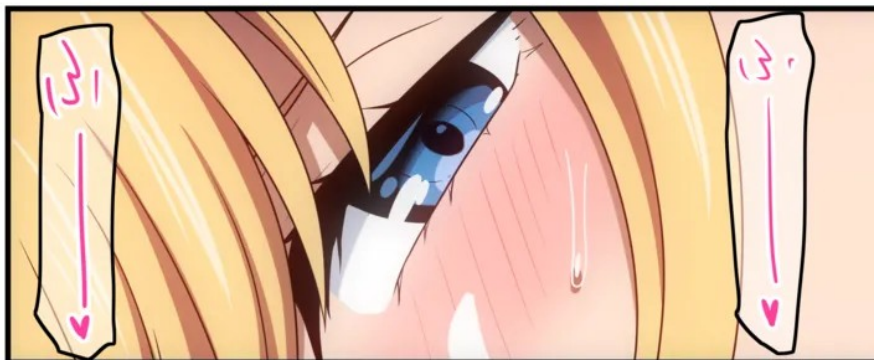
♡



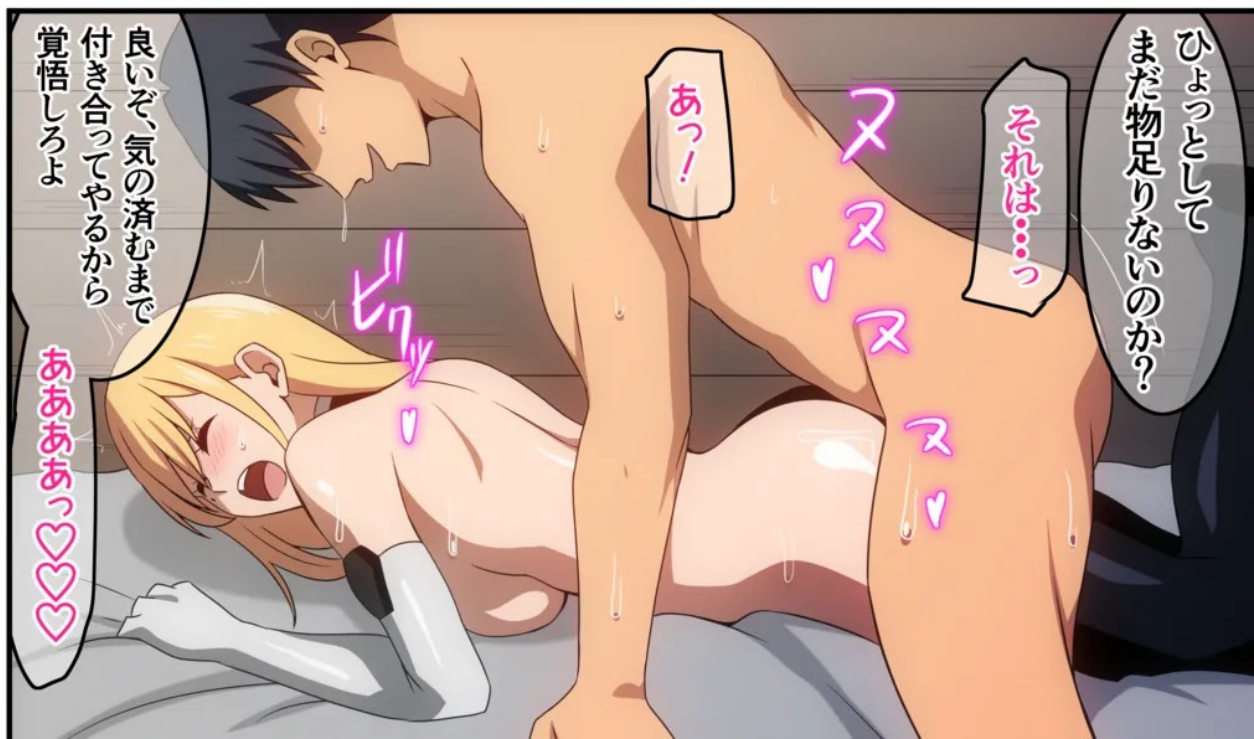
ふう…もう精子
入りきらないな
そろそろ終わるか…



何だその物欲し
そうな目は



どうやらこの娘も
セックスにハマって
しまった様だ



良いぞ、気の済むまで
付き合ってやるから
覚悟しろよ

ああああっ♡♡♡

あっ!

それは…っ

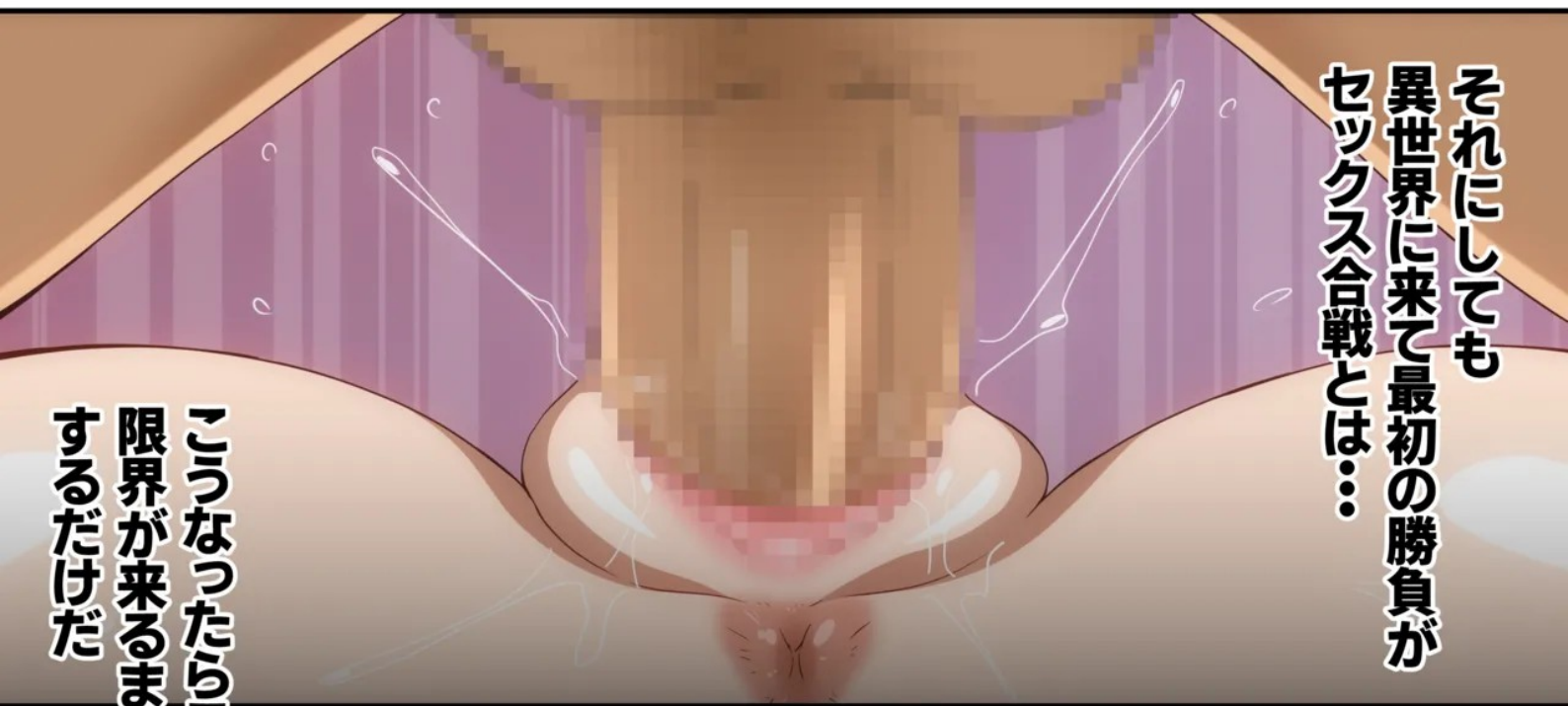
ひよつとして
まだ物足りないのか?

ぶつとくなつた
俺のチ○ポ突っ込んだ
だけでこの娘がこんな
なるのも違和感があるが



聖痕1つにつき二能力
とか言ってたし魅了的な
力も俺にはあるのかもしれない

それにしても
異世界に来て最初の勝負が
セックス合戦とは…



こうなったらこの娘の
限界が来るまで相手に
するだけだ

んく
スツキリした

ムスコも大人しくなって
動きやすくなったぞ

改めて異世界冒険
始めますか！

とはいうものの…

肝心の案内人を
足腰立たなく
させてしまった…

しばらく冒険は
お預けだなこりゃ

やば、思い出したら
また勃ってきた…

